

○6番 森下祈君

今元小学校6年、森下祈です。私は、子どもの意見を市報で発信する仕組みについて質問します。

子ども議会だけでなく、普段から子どもがまちづくりについて話し合えるワークショップがあれば、もっと多くの子どもたちにとって、まちづくりが身近になると思います。

またワークショップで出た良いアイデアや学校のニュースを載せる子ども専用ページを市報でつくれたらいいと思います。ご検討のほど、よろしくお願いいたします。

○後半議長 荒木優丞君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えします。まずはですね、皆さん方のご意見を積極的に取り上げて、そして発信するようなもの、こういったものは、本当に私自身もあればいいなと思います。

普段からワークショップをとということでもございますが、こういったワークショップの機会も、いろいろと実は例えばリブリオと協力したり、あるいは教育委員会を中心に様々なかたちで皆さん方と同世代の方々にいろいろな経験をしていただくような機会というのは、実は増やしてきております。夏休みもいろいろな体験学習をする機会をつくったりとか、ですので、引き続きいま議員がおっしゃったようなご意見も踏まえたうえで、そういった機会をさらに皆さん方の要望にお応えできるようなものがないかといったものは、検討させていただきたいと思います。

それから、子ども専用ページですね、そういったことも技術的には可能だと思います。

ただ、後は、実は市も今はSNSなども、いろんなものをどんどんやっております。ホームページもございますし、マンパワー、要はそこにどれだけの人を投入できるか、誰がそれをやるのかというところも一つ課題としてございます。ただ、未来を担う皆さん方がより市政に関心を持ってくださって、そして皆さんの考えが同世代の皆さん方や大人たちにも発信される、これは、まちづくりを進めていくうえで、とっても重要なんじゃないかなと思います。

きょう議員のいろんな皆さん方からも、いろんなご意見をいただいておりますので、前向きに検討させていただきたいと思います。以上です。

○後半議長 荒木優丞君

森下議員。

○6番 森下祈君

出来る限り早く実現できるよう、期待しています。

以上で質問を終わります。ありがとうございました。